令和９年度実施事業
意見聴取シート
とりまとめについて

資料③-1

基本方針	１：プロモーション強化
主たる具体的な手法	①岸和田の観光資源を知ってもらう基本的な観光情報の発信の強化【国内】

Ａ：事業の方向性

【事業概要】
・情報発信の強化
（例：本市ウェブサイト、SNS、観光振興協会SNS　等）

【事業効果・効果指標】
・本市の認知度向上、閲覧数、フォロワー数、SNS発信数、滞在時間

Ｂ：Ａに対する委員からの意見取りまとめ（事業・評価項目等）

・「だんじりの岸和田」の認知度は高い一方、祭礼時期以外の岸和田の魅力がまだ十分伝わっていないと感じる。
・関空に近いという好立地を国内外の誘客に十分生かし切れていない。
・2027年5月開催のワールドマスターズゲームズの機会を捉えることも肝要。（国内3万人国外2万人の集客目標）
・プロモーション強化の一つとして、フォロワー数千～数万人のマイクロインフルエンサーの招待で「関西のおでかけ」「食」「和の暮らし」などに特化した発信をしてはどうか。それと、市民と事業者が発信者になれる仕組みづくりをしてその効果を図ってはどうか。例えば＃の共有など。
・観光情報の発信の強化として、多岐にわたる発信媒体の活用は重要であるが、情報内容そのものを正確でより魅力的なものとすることも重要。例えば、「岸和田城」と検索すると、観光課、郷土文化課、岸ぶら記事がそれぞれ出てきて、情報がバラバラである。核となるサイトを設けて、観覧案内、岸和田城について（歴史、天守・石垣、岸和田城の価値）、イベント情報などを多面的、総合的に伝えては。天守閣と本丸庭園「八陣の庭」両者の関係や、岸和田のランドマークという観点をもっとアピールしてはどうか。
・情報発信の強化手段として、海外インフルエンサーによるファムトリップの実施や、国内向けには旅番組の誘致をもっと積極的に行って欲しい。

Ｃ：アクションプランに沿った取組みイメージについての委員からの提案

【事業提案】
・「だんじり・城下町・食・海・農」を一つのストーリーとして発信。
・大阪市内・関空との連携を強化し、SNS・動画・OTA等によるターゲット別発信を展開。「関空から最も近い大阪文化体験エリア」としてのポジショニングを明確化すればどうか。
・アクションプラン基本方針1について、SNSでの発信に加えてYouTubeを取り入れてはどうか。内容としては、より「人」を主役に、その人に会いたいと思わせるような発信。例えばだんじり彫師や漁港の人、古民家で店を営む人、和菓子屋の店主など。町の担い手にクローズアップして紹介する連載やショート動画など。

基本方針	１：プロモーション強化
主たる具体的な手法	②観光コンテンツに興味をもってもらうキャンペーンや民間媒体の活用【国内】

Ａ：事業の方向性

【事業概要】
・民間事業者の広告媒体を活用した発地プロモーション強化
（例：交通機関の広告、民間事業者の事業への参画　等）

【事業効果・効果指標】
・本市の認知度向上、サイト閲覧数、SNS発信数、協力事業者数

Ｂ：Ａに対する委員からの意見取りまとめ（事業・評価項目等）

Ｃ：アクションプランに沿った取組みイメージについての委員からの提案

【事業提案】

基本方針	１：プロモーション強化
主たる具体的な手法	③多様な主体との連携強化【国内】

Ａ：事業の方向性

【事業概要】
・フィルムコミッションの推進
・大阪観光局との協働事業のブラッシュアップ

【事業効果・効果指標】
・本市の認知度向上、閲覧数、SNS発信数、協力案件数

Ｂ：Ａに対する委員からの意見取りまとめ（事業・評価項目等）

Ｃ：アクションプランに沿った取組みイメージについての委員からの提案

【事業提案】
・お城フェス（グランフロント大阪）での岸和田城のアピールは、良かったと思う。他のいくつかのブースで行っていた「ミニ講座」のようなものも今後取り入れてアピールしては如何か。また、ここでの展示内容も貴重な情報だと思うので情報発信に活用しては。

基本方針	１：プロモーション強化
主たる具体的な手法	①岸和田の観光資源を知ってもらう基本的な観光情報の発信の強化【海外】

Ａ：事業の方向性

【事業概要】
・情報発信の強化
（例：本市ウェブサイト、SNS、観光振興協会SNS　等）

【事業効果・効果指標】
・本市の認知度向上、閲覧数、フォロワー数、SNS発信数、滞在時間

Ｂ：Ａに対する委員からの意見取りまとめ（事業・評価項目等）

・関空に近いという好立地を国内外の誘客に十分生かし切れていない。（シート１と同じ）
・2027年5月開催のワールドマスターズゲームズの機会を捉えることも肝要。（国内3万人国外2万人の集客目標）（シート１と同じ）
・情報発信の強化手段として、海外インフルエンサーによるファムトリップの実施や、国内向けには旅番組の誘致をもっと積極的に行って欲しい。（シート１と同じ）

Ｃ：アクションプランに沿った取組みイメージについての委員からの提案

【事業提案】
・アクションプラン基本方針１－①について、海外向けとしては来訪国等を分析し、ターゲット国を絞っても良いのではないか。

基本方針	１：プロモーション強化
主たる具体的な手法	③多様な主体との連携強化【海外】

Ａ：事業の方向性

【事業概要】
・フィルムコミッションの推進
・大阪観光局との協働事業のブラッシュアップ

【事業効果・効果指標】
・本市の認知度向上、閲覧数、SNS発信数、協力案件数

Ｂ：Ａに対する委員からの意見取りまとめ（事業・評価項目等）

Ｃ：アクションプランに沿った取組みイメージについての委員からの提案

【事業提案】

基本方針	２：観光コンテンツの充実
主たる具体的な手法	①だんじり文化を活かした通年観光の促進の強化

Ａ：事業の方向性

【事業概要】
・だんじり文化を活かした新たなコンテンツの開発
【事業効果・効果指標】
・本市の認知度向上、関連サイト閲覧数、参加者数、参加者のSNS発信数、満足度、だんじり会館企画事業への活用等

Ｂ：Ａに対する委員からの意見取りまとめ（事業・評価項目等）

・だんじり、食、歴史などおおむね岸和田の魅力をコンテンツにしている感じはあるか、何かパンチが足りない感じを受ける。国内からであれば、どの世代を狙うのか、海外からであれば、どこのエリアのどの世代を狙うのかをもう少し具現化する方がコンテンツをより深めれるのではないか、と感じた。
・だんじり小屋巡りは、適時のイベントで多数の応募があり良かったと思う。
・「だんじり文化」と言った場合、祭本番での曳行、だんじり本体だけでなく、これらを支えるだんじり大工（工務店）、彫師、飾り物や法被などの製造業、曳行組織、神事などにも着目したイベントも企画してはどうか。
・「だんじり祭り」「包近の桃」「岸和田城」など、岸和田のオンリーワン的キラーコンテンツに絞った周遊コースの造成と商品販売に取り組めば良いのでは。

Ｃ：アクションプランに沿った取組みイメージについての委員からの提案

【事業提案】
・市民の「推し」を集めて埋もれた資源を掘り起こしてはどうか？住民が一番よく知っている情報収集。
「あなたが友人を案内したい岸和田の場所、店、人」を市民から募集して、親近感のあるコンテンツを発掘する。岸和田のマニアックに人々を引き付ける。
・「だんじり会館」はだんじり文化を通年で体験できる施設として重要である。以下の点を工夫してもらえると来場者の理解がより深まり、満足していただけるのでは。
　1）３階展示コーナーで、だんじりや彫物の制作風景を映像で流しているが、折角の映像も説明が無く、チラッと見て素通りする見学者が多い。だんじりの製作工程に沿った短い紹介（5、６分以内）があると良い。どのような思いで携わっているか、従事者の生の声も聴きたい。
　2）２階展示コーナーにかつて備えられていた「大型スクリーンマルチビジョン」は老朽化で撤去されたが、見学者から復活を望む声は多い。

基本方針	２：観光コンテンツの充実
主たる具体的な手法	②豊富な特産品を活かした「食」観光の推進

Ａ：事業の方向性

【事業概要】
・市域全体を活用した「食」コンテンツの開発
（例：コンテスト、コンクール、磨き上げや発掘　等）

・岸和田城周辺を活用した「食」コンテンツの開発
（例：二の丸広場や五風荘など連携したイベント開催　等）

・新たなお土産の開発

【事業効果・効果指標】
・本市の認知度向上、申込サイト閲覧数、申込・参加者数、参加者のSNS発信数、満足度、造成・開発・ツアー催行数、協力事業者数、消費額

Ｂ：Ａに対する委員からの意見取りまとめ（事業・評価項目等）

・観光素材は豊富だが、「各観光地を点で見る観光」が中心で、体験・消費につながる商品化がまだ不足している。
食に伸びしろがあるのではないか。

Ｃ：アクションプランに沿った取組みイメージについての委員からの提案

【事業提案】
・意外に岸和田での回遊方がわからない人が多いと聞くので、「城下町×祭文化×食」を核とした、岸和田駅 → 商店街 → 紀州街道 → 岸和田城 → 八陣の庭 → 五風荘で昼食 → だんじり会館などを２、3時間で回れるコースを、サイン、デジタルマップ、共通チケット、飲食クーポンまで一体化して［王道のプラン］を策定してはどうか。

基本方針	２：観光コンテンツの充実
主たる具体的な手法	③豊かな歴史資源を活用した体験型コンテンツの開発と発信

Ａ：事業の方向性

【事業概要】
・岸和田城周辺を活用した四季に応じた観光コンテンツの開発
（例：リニューアルに向けたイベント、節句やクリスマス　等）

・市内全域を活用したコンテンツの開発
（例：既存ツアーのブラッシュアップ、新規ツアー造成　等）

【事業効果・効果指標】
・本市の認知度向上、申込サイト閲覧数、申込者数、参加者のSNS発信数、満足度

Ｂ：Ａに対する委員からの意見取りまとめ（事業・評価項目等）

・事業概要（２）に「・・・、伊賀、甲賀につぐ忍者ゆかりの地岸和田・・・」とあるが、「つぐ」というのは誤解を招く表現かと。伊賀、甲賀は忍者誕生の地、岸和田藩は多くの忍者を召し抱えていた（甲賀士五拾人）。

Ｃ：アクションプランに沿った取組みイメージについての委員からの提案

【事業提案】
・事業概要（２）：選手権参加者は勿論、一般参加者にも「岸和田藩の忍者」を知ってもらう機会として、会場内で展示などをしてはどうか。（岸和田城隅櫓での展示に誘導するのは難しいのでは）
・事業概要（５）：タイムリーな企画である。欲を言えば、昨年度から実施していれば良かったかも。「豊臣兄弟！」ゆかりの地として中村一氏や兄弟の義理の叔父にあたる小出秀政が城主となった岸和田城のほか、どこが挙げられるか？秀吉紀州攻め以前のエピソードが残る「蛸地蔵尊天性寺」、小出秀政の菩提寺として建立された圓教寺、紀州攻めの際の「額塚」、秀吉の妻・淀殿が神輿修復の援助をした「積川神社」などか。
・事業概要には挙げられていない取り組みとして、「八陣の庭」を活用したイベントを定期的に実施しては？これまでにも実施しているが、例えば、華道展、高校生のファションショー、夏の灯りなど。
・五風荘の茶室を活用した、茶席体験など（インバウンド／日本人）。岸和田ブランドの和菓子の認知度向上にも資するのでは。

基本方針	２：観光コンテンツの充実
主たる具体的な手法	④観光コンテンツの周遊促進の強化

Ａ：事業の方向性

【事業概要】
・サイクルイベントのブラッシュアップ

【事業効果・効果指標】
・本市の認知度向上、サイト閲覧数、イベント来場・参加者数、参加者のSNS発信数、ツアー催行回数

Ｂ：Ａに対する委員からの意見取りまとめ（事業・評価項目等）

Ｃ：アクションプランに沿った取組みイメージについての委員からの提案

【事業提案】
・アクションプラン基本方針2－④について、サイクリングをテーマにするのは良いと思う。堺やその他泉州の市町村と連携して、安全なルートの整備を中長期的に行って欲しい。

基本方針	３：受入体制の整備・充実
主たる具体的な手法	①市民や事業者等が一体となって観光振興に取り組む機運醸成

Ａ：事業の方向性

【事業概要】
・事業者等との協働によるまち歩きツアー

・観光アンバサダー発掘
（例：公募の実施や養成講座　等）

【事業効果・効果指標】
・本市の認知度向上、申込サイト閲覧数、申込・参加者数、協力事業者数、認定数、認定者アカウントのフォロワー数

Ｂ：Ａに対する委員からの意見取りまとめ（事業・評価項目等）

・コンテンツ同様に、国内からと海外からの狙う層に応じて受け入れ体制を分けていく事がターゲットへの訴求力につながるのではないか。
・まちあるきイベントでは、外国人の参加も受入れる等コミュニケーションの強化を行って欲しい。異文化との交流を増やすことにより、市民自身が岸和田の街の素晴らしさを改めて見直す機会にもなり、シビックプライドの醸成にもつながると考える。

Ｃ：アクションプランに沿った取組みイメージについての委員からの提案

【事業提案】
・具体的な手法①　市民や事業者が一体となる観光振興はとても良いと思うが、具体的にどこに訴求するかの目標を明らかにすることで市民や事業者の意識も高まる。期限もいついつまでにここを目指すという具体性がある方が進んでいきやすいと感じた。

基本方針	３：受入体制の整備・充実
主たる具体的な手法	②生活にも配慮した観光地としての基盤整備

Ａ：事業の方向性

【事業概要】
・観光受入体制の整備
（例：デジタルサイネージの導入　等）

・アプリの活用
（例：周遊促進や観光案内、その他モデルコースの設定　等）

【事業効果・効果指標】
・閲覧数、コース数、スポット通過数

Ｂ：Ａに対する委員からの意見取りまとめ（事業・評価項目等）

・観光客が「どこへ行くか・どう移動するか・どこで食べるか」を分かりやすく選択できる環境が十分ではない。
特に関空利用者（インバウンド）に対しては、手ぶら観光の視点をうまく活用するべき。
・アクションプラン基本方針3－②について、城下町泊も魅力であるが、やはり城泊を実現させて欲しい。（櫓泊でも良い。）これができれば、プロモーション強化にもつながる。

Ｃ：アクションプランに沿った取組みイメージについての委員からの提案

【事業提案】
・多言語案内、デジタルマップ、キャッシュレス、Wi-Fi、手荷物預かり・配送などを整備。岸和田駅を起点に観光動線を明確化し、共通チケットや飲食クーポン等を導入。観光事業者だけでなく、商店街・飲食店・町会・農漁業者までを「観光の担い手」として、より一層巻き込む必要があると感じる。
・観光ポイントだけではなく、アクセスも美しくする整備することが大切と思います。
1)観光ポイントに向かう動線を美しく整備すること。例えば、岸和田駅・蛸地蔵駅から岸和田城周辺に向かって歩く観光客が美しいと感じられる道筋の整備。
2)観光ポイントの駐車場の整備。などです。

基本方針	３：受入体制の整備・充実
主たる具体的な手法	③歴史や文化を次世代に継承するための調査研究や市民への講座

Ａ：事業の方向性

【事業概要】
・観光関連講座の実施
（例：市民向け、職員向け、事業者向け、ボランティアガイド　等）

【事業効果・効果指標】
・本市の認知度向上、申込サイト閲覧数、申込者数

Ｂ：Ａに対する委員からの意見取りまとめ（事業・評価項目等）

・岸和田城リニューアルプロジェクトに連動して、展示品の見直しや別の場所での展示を計画する必要があると思われるが、その際、岸和田の歴史や岸和田城の変遷、岸和田城の価値などが順序立てて学べるよう工夫してもらいたい。また、長期的には、市民や来訪者が岸和田の歴史や文化を学べる「郷土資料館（博物館･美術館）」の設置を検討すべきでは？小規模でも良いので、なんらかの歴史・文化の発信基地が必要。

Ｃ：アクションプランに沿った取組みイメージについての委員からの提案

【事業提案】